

シリーズ白眉対談⑩

X/Twitter、どう使ってる？



X (旧 Twitter) を活用している4人の研究者に使い方を伺ってみると、それぞれ違う立場と視点での活用戦略がありました。

研究者と社会の双方向コミュニケーションツールとして有用なX/Twitterですが、実名で使いこなすのは案外難しいと考える人も多いのではないのでしょうか。TwitterがX社に買収されて1年以上が経過し、その間に様々な仕様変更が行われてきました。そんな時期、2023年11月に開催された座談会の模様をお届けします。(担当：第13期 特定助教 大貫茉莉)

野外で見つけたもの、変わった生き物の

面白いところを発信。

(細)



動物の進化、特に右左に注目して研究をしています。普通の生命学者とは違って、非モデル生物、野外の変った生き物とかを扱っているので、それに関連して、野外で見つけたものなどを発信していくというような運用を長いことやってました。

Twitter歴は長くて、13年ぐらいかな、震災の直前に始めて、そのとき、東北大にいたんで、Twitterによる情報収集の利点を非常に強く実感して。そのあと2年間、オランダに行ってたんですけども、その間、男性一人ということで、とてもさみしい(笑)向こうからTwitterで日本との接点を維持したりとか、海外で同じようにさみしい思いもしてるおじさんたちと仲よくなったりとか、そういう使い方をしてました。で、そのあと、白眉に拾われて日本戻ってきてからも、Twitter、割と熱心にやってたんですけども、どっちかというところ、ここ5、6年ぐらいは、あんまり自分から積極的に使っていない。ちょっとSNSを卒業した側になってるのかなという気がしています。でも、たまにTwitterで報告したいこととか出るとツイートして、それなりのインプレッション(投稿したツイートがほかのユーザーのタイムラインに表示された回数)があるような感じで運用を続けているところですね。

使っていた目的も自分のキャリアに合わせていろいろ変わってきていますけれども、基本的には変わった生き物の面白いところとか、そういったものを発信する、一般の人たちに共感してもらって、あわよくば自分の何かの利益になるようなことがあればいいなというような感じで続けてきています。

細 将貴 ほそまさき @MasakiHoso

早稲田大学 教育学部 理学科 生物学専修、准教授。第4期白眉研究者。専門は進化生物学、進化生態学。特に注目している生命現象は、体制や行動にみられる左右の非対称性。

学問をより身近にするため、

基本的には面白いと思える冗談を。

(武田)



僕は、ちょうど大学3・4年生、卒論とかの時期ぐらいから、周りの人が使っているからということで始めて、普通に同級生同士でコミュニケーションを取るツールとして使ってた。最初は結構、自分の研究とか勉強してることの話をつぶやいてたんですけど、反応があまりにもよろしくない。相当自分の専門に近い人とかしか興味を持ってくれないので、このまま使い続けてもなと思ったんで、あるときからシフトして、もうとりあえず人を集めようって意識しはじめました。人を集めてから自分の研究とか勉強しててことを話せばもっと多くの人が興味を持ってくれるなって思って方向性を変えました。

普段は、基本的にはくだらない冗談をつぶやくようにしてて…最近つぶやいたのとかは、「研究者はよく休みの日だったので仕事が進んだという意味不明の供述をします」みたいなツイートして、それだけでも2000とか3000「いいね!」ぐらい。一番最近のツイートは、くだらない冗談言ってるっていっぱい「いいね!」集まるけど、果たして論文はどれぐらいの人が読んでくれるんでしょう?と言って、自分が最近書いた論文のリンクを張るみたいなことをしています。だから、基本的にはあんまり仕事として使うというより、自分の趣味としてTwitterを使う中で、多くの人たちの注意を引いて、それを経て、自分の本とか講演をするとか、そういうものの宣伝として使おうというような使い方をしてます。

武田 紘樹 たけだひろき @tomatoha831

京都大学大学院 理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻 物理第二分野 天体核研究室、日本学術振興会 特別研究員 -PD。なお本座談会后に第14期白眉研究者として採用が決定、2024年4月より着任予定。専門は一般相対性理論、重力波物理学、相対論実験。重力波という時空の歪みの波を使って、重力の性質や宇宙の進化と起源を研究。



今みんなが知りたい、国際制度の解説。

(越智)



記録を見ると、実際に使ったのは10年ぐらい前のようなんですけど…(笑)ただそれ、私いろんな海外ニュースとかを読むんで、最初はそのリンク集として、ほぼプライベート用みたいなかたちで運用していました。

きっかけになったのは2年前のロシアによるウクライナ侵攻の後、1カ月後ぐらいの時です。私の研究テーマとも関係するんですけど、残虐な映像とか写真とかがたくさんTwitterに上がるようになって、私のようにあんまり使わない人でも目に入ってくるっていうことになっていて。それに対して、あんまり見すぎないように、見るのはいいけどなるべく心のケアをして気をつけてくださいみたいなツイートを、すごく気持ちが高ぶっている中書いたものが割と広まったのをきっかけに、これについて知りたい人がいるんだなっていうことがわかりました。

それで戦争犯罪ってこういうものですよとか、ジェノサイドっていう言葉を米国の大統領が使ったけど、それって何?っていう疑問に答えるようなツイートをしていると、メディアの人からも、どういう意味なのかわかんないってことで結構連絡をいただくようになって。そういう中で、ニュースに出てくる言葉なのにみんなが知らない、書いてる人たちもよくわかってないってまずいなと思って、Twitterのほうで解説とか条文とかをコピペするとか、それについてちゃんと書いてある記事をリンク張るみたいなかたちで、割と自分の研究っていうよりか国際制度の解説みたいなことをずっとこの2年間やってきたっていう感じです。

で、自分の研究はもう書いても全然「いいね!」とかもらえないので(笑)私、別にメディアばかりやってる人じゃなくてちゃんと自分の研究もやっていますっていうのをアピールするために自分の研究も一応書くんなんですけど、基本的にはメディアとか一般に対する教育活動のようなかたちで行っている感じになります。



左から、村上さん、武田さん、越智さん、細さん。細さんはオンラインでモニタ越しの参加。

越智 萌 おちめぐみ @ochimegumi

立命館大学大学院 国際関係研究科、准教授。第10期白眉研究者。専門は国際刑事司法(国際法、国際機構論、平和紛争論)。ジェノサイド、人道に対する犯罪、戦争犯罪、侵略犯罪といった、国際社会全体の関心事となる重大な国際犯罪(中核犯罪)に関する諸法について研究。

研究者の実際を知ってもらいたい、

身近に感じてもらいたい。

(村上)



僕は大阪の阿倍野区出身で商店街の育ちで、実家がたこ焼き屋っていう、うそみたいな本当の話なんですけど、そういうところで育ちました。なんで、Twitterは、研究者っていうのは実際こういう人ですよって知ってもらいたいなつもりで書いています。

研究分野が情報系、教育系ということもあって、TwitterなどのSNSは授業で使ったりしています。いくつか挙げますと…

京都外大にいた2010年ぐらいから、「情報社会論」という100人とか200人が受講する講義で、ハッシュタグをつけてリアルタイムにTwitterでコメントを書きってもらう授業をしていました。例えば、漫画やテレビ、マスメディアの話がテーマの日には、「読むマンガはこうやって探している」「今クールドラマは〇〇がいい」みたいな話を書いてもらったり。

京大で非常勤やってたこともあるのですが、最近の情報関係の話題を取り上げる授業で、総合人間学部の後輩の金丸さん(当時、人間・環境学研究所 助教。現在、国際高等研究院 准教授)にニコマス(ニコニコ動画に投稿されたアイドル育成ゲーム「アイドルマスター」関連の二次創作作品)を題材に授業してもらったことがあります。アイドルマスターの歴史、二次創作、ニコマスの変遷などを話してもらいました。最後に「こういうのをクラスター分析するには線形代数が必要で、ちゃんとみんな頑張ってる勉強しないとダメです、そしたらニコニコ動画とかずっと見れます」と言って、他の授業の関連性や動機づけが高まるように説明してくれました。この授業、こんな話題を扱っていいの、っていう理由で、少し炎上しかかったんですけど(笑)

研究系の話でいうと、Twitterに「統計について授業でうまく説明する方法を知りたい」と書くと統計系の人がいられるコメントして教えてくれたりとかもありましたね。

10年ぐらい前には、割と実況中継というのがTwitterでありまして、僕も学会の中でツイート要員として全国大会の様子をツイートしていただいていたなあ、と。最近はまだ随分下火になりました。

ざっとですが、こういったことに使ってたという感じがします。

村上 正行 むらかみまさゆき @munyon74

大阪大学全学教育推進機構 教育学習支援部 教授。専門は教育工学、大学教育学。大学教育を対象にした教育データ分析、ICTやSNSを活用した教育、教育改善・FD等に関する研究。

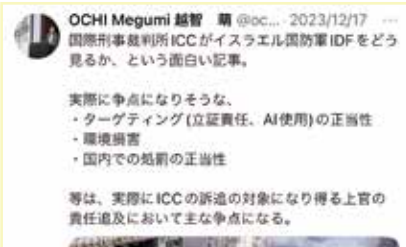
SNS やってる研究者の鑑。



大貫 研究者が Twitter をする意義についてどうお考えですか？



細 多分、僕はあまり公共の利益になるようなことは考えていないですね。自分個人が研究者個人として社会の人たちとつながるっていうことに利益を感じるのやるという程度になってしまっています。で、その点で言うと、前々から Twitter にときどき流れてきて気になっていて、プロフィール見ると白眉ということで、お？と思ったら、それが越智さん。いや、もう大変すばらしい Twitter の使い方されているなと思って、こんなすばらしい人が白眉に後々入ってこられたんだなと思って感銘を受けたんですけども、越智さんの使い方、研究者の鑑というか、SNS やってる研究者の鑑だなと思って感心して見えています。それに比べれば私がやってるの、趣味的な感じですね。あんまり公共のためにという意義を持っていないという感じになります。



大貫 ちなみに個人として社会の人たちとつながった結果、具体的にはどんな利益がありましたか。



細 直接的にはそんなに多くはないですけども、貴重なシーンを撮影してる投稿を見つけて、それについてコミュニケーションした結果として小さな論文が出たことや、あと、何だかんだいって出版物以外で研究者のことを知ろうと思ったら口コミか SNS にあたるしかないわけで、もしかしたら SNS での振る舞いなどが評価されて何らかの間接的な利益があったかもしれないですね。でも、それは多分、アカデミアからどう評価されたかっていう話であって、社会からそれで自分に利益が還元されたっていうことはあんまないかもしれないですね。講演頼みやすいとか、それは利益かどうか、ちょっと微妙なことだと思うんですけども (笑) そういう機会が増えるっていうのはあったと思いますね。



越智 ありがとうございます (笑) ありがたいことを言っていたんですけども、逆に私、細先生の Twitter 見てて、いいなってすごい思ったんですよ。自然や生物の写真がたくさんあって。あと、いろんな人から珍しい写真を共有されてたりとか、ゼミ生にすごく愛されてるとか。

そういう研究してる人、特に生物に関心がある子どもたちとか高校生とかは絶対このツイート見たらいいなって思うと思いますし、楽しそうってポジティブなイメージを、多分すごく広げてるんだと思うんですよ。で、別に細先生の研究室だけじゃなくて生物系とか理系の研究室ってこういう感じなんだなっていうのが伝わるので、そういう意味では、若い世代の人にすごくアウトリーチしてるアカウントだなと、うらやましいなと思って見ました。



細 (笑)



越智 ポジティブなイメージを素直に発するのができていいなって思ったんですよ。うまく言えないんですけども、素を出すっていうのができてらっしゃるのかなっていう。それから研究室の方も写真に。

炎上に関する傾向と対策。

越智 私、実名でやってますけども、研究のテーマにもよるのか、それとも私の性格の問題なのかもしれないんですけども、プライベートなことは、ほとんど一切書いてないんですね。そこで一歩踏み出せてない感。私、2年前から真剣にやるようになったので新参なんですけども、その辺の心持ちとか、あと、承認欲求とかで気をつけることとか、そういうのは先輩のTwitterとして学べるなって思って見てました（笑）。

白眉 大貫 越智さんは教育目的みたいなかたちで使うにとどめていて、個人的なことは書かないんですね。

越智 すごくリスクがあることだっていうのはほかの炎上してる先生たちを見てよく知ってるので。特に政治的なことに関しては慎重になる部分がものすごく多くて、すごく制約の多い中で私自身はやってる意識があります。

村上 でも、越智さんのTwitter拝見しましたが、実際、いろいろ言ってくる人いますよね？多分。

越智 はい。

村上 その辺の対応とか、今、大変じゃないですか。例えばウクライナ関係の話題についてTwitterで発言したり、テレビに出て解説していると、Twitter上でいろいろわけのわからんプライとか飛んでくるかなと思うんですけど、その辺、対応とか気をつけていることとか、何かありますか。

越智 （笑）見れるときと見れないときがあるんですけど、あんまり気持ちよくない発言をもらうこともありますね。なので、逆に炎上経験のある先輩に話を聞いてみたいですけど（笑）

村上 そこまで炎上したことはない（笑）僕は1996年からブログ、ウェブ日記を2019年ぐらいまでは大体書いていたんで、ある程度感覚が分かっていて、さっきのニコマスの話は燃えそうになったときに、すぐ自分のブログに「この授業は、こういう理由でやりました」みたいな感じで消火活動に入りました。あとは、ほかの知り合いとかが炎上したときに、対応は何回か手伝ったことはあって、

越智 コンサルですか（笑）

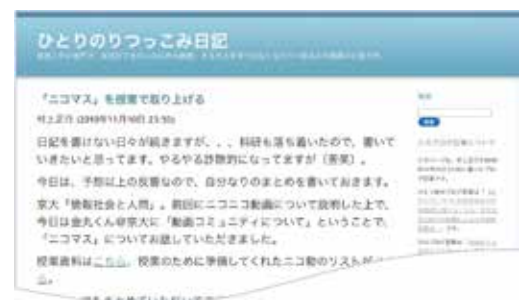
村上 いや、コンサルではないですけど。

一同 （笑）

村上 基本、ただそのまま消すとよくない、履歴を残した状態で消すということですかね。まあ、Twitterになるとまたちょっと違うこともあるんですけど、一応、基本的にブログとかにこういう理由でこは消しました、これは本当に申し訳ありません、って言って鎮火活動に入るってことをやってました。

炎上したときには、きちんと早い段階で、なるべく本意を説明することが大事だと思います。Twitterとか切り取られるんで…短いでしょ、たかだか140字。しかも、連ツイって、複数ツイートから1個だけ取られて変に解釈されるっていうこともそれなりにあるので、その部分をきちんと押さえて、真意を説明して話を治めるということをやりました。まあ、炎上もいろいろあるので、難しいところもありますけど。

村上さんのブログ。
ニコマスを授業の題材に取り上げた背景と意図を説明している。



越智 女性の研究者はそれだけで一個、弱いと思われるがちなのか、攻撃をしやすいのかなっていうのは他の炎上してる人を見て思っていて。私自身はあんまりそんな感じはないんですけど、プライベートなことは書かないほうがいいのかっていうのはすごく思ってます。なので、発信することはすごく奨励すべきだと思うんですけども、それとTwitterで見せる部分っていうのは、気をつけるべきことは多いのかなっていうのは思ってます。

…って言って、私、ネガティブなことばかり言ってしまうんですけど（笑）そうじゃなくてもっとキラキラした、

一同 （笑）

村上 まあ、Twitterはそんなキラキラはしてないですけど。インスタじゃないので（笑）

越智 キラキラというか（笑）怖いことばかりじゃないので、楽しいことのほうが多いので。私が今言ったネガティブなことは本当一部で、すごくいいリップをもらって刺激されてディスカッションに入るとか、自分のブレインストーミングが促進されることがすごくあるんですよ。なので、なるべく読めるときは読んで、いいなと思ったやつは積極的に議論深めるみたいなことはあります。

白眉 大貫 越智さんのほうからTwitterのいい側面も聞けてよかったです。

一同 （笑）

越智 今、何かちょっと暗い感じに（笑）





大貫 武田さんはいかがですか。



武田 僕は基本的に趣味がほとんどなくて、物理と数学ぐらいしかやってなかったんですけど、強いて言うならお笑いのコントを見るのとか、冗談言い合うのが結構好きだったんで、Twitterは割り切ってもう冗談言うツールとして使い続けようって決めて。

そうすると、文の裏の裏を読む過激な指摘をしてる人がいるんですけど、僕はもうリプライ欄とかも見ないようにしています。全員にコメントを返すとか、反応したり説明したりしていると、もう時間として研究どころではなくなってしまうので。なんで、基本的には自分が面白いと思ったものを発信して、その人たちがどう思うかはその人たちに任せる。ただ、それで個人的な恨みを買ってしまって、自分とか家族とかに危害があるとか、大学に苦情を入れるとか、そういう話は当然あり得ることなんで、それだけはないように気をつけようとしています。

ただ、そういうのが気になる人、そういうのが気になって怖い、炎上とか怖いなって思ってる人は大丈夫な人だと僕は思って。そういう感覚がない人が炎上しているイメージがあるんで(笑)

政治とか哲学とかに関係してる、多くの人に共通したテーマだと、そういう攻撃を受けやすいっていうのは確かに怖いところだなと思いますけど、僕は物理のツイートをして炎上することはあんまりないと思っているので、割り切って使ってますかね。

人が集まる。知ってもらう。



大貫 Twitter使っててよかったところって何でしょう。



武田 Twitterがある程度人が集まってくるようになってから、YouTubeとか、別の媒体で研究の話をする、論文読んだ紹介するとかいうのをするようになって。そこで大学生と意欲のある高校生とかがコメントしてくれたり、どういう進路をたどったらいいですかっていうのを聞いてくれるようになったりしたの、うれしかったです。あと、子ども向けの話をしたんで本を書きませんかと言われて本を書いたりだとか、講演とか、こういう場に呼んでいただいたりとかすることは副次的にありました。けれどもそれを意図してやってたというよりは、最初はまあ趣味ですね、どっちかというところ。

僕はあんまりこういうのはしないようにしようとか、そういうのを設けてなくて、面白いと思って言いたいと思ったらもう言うようにしてます。それがSNSだし、そんなに神経とがらせないと発言できないようになってっちゃうんだったら、僕はつらいんでやめたいなと思っちゃうタイプです。



越智 でも、読んでるとすごいすっきりします、武田さんのTwitter、大好きなんで、私。めっちゃいいねも押しして。代弁して下さってて、わかるっていうのは結構多い。



武田 (笑)



大貫 村上さんはTwitter以外にもいろいろな媒体を使われていて、ポジティブなフィードバックをもらっているように見えるんですけどいかがですか。



村上 そうですね。どちらかというところ武田さんとか細さんに近いんですけど、Twitterでは研究者、大学教員って身近な人です、みたいなことを知ってもらってということが割とメインです。野球が好きで阪神ファンなので、優勝したときにも、やったー、みたいなこと書きましたし、お笑い好きなので、M-1やキングオブコントの時には1組ずつ感想を書くみたいなことをやっています。対して、教育関係なので、大学ファンドとも言われている国際卓越研究大学の話であるとか、そういう文教政策に対するコメントとか、いろいろ書くようにしてるという感じです。

そうやって顔も出していろいろ書いてると、大学や学会などでいろいろ仕事もそれなりにしてるんで、「むーにょさんですね」とか、声かけられます。前職の京都外大のときにも、FDとして教員研修をやったり、SDといわれる職員研修もいろんな大学に行ってやってたので、特に大学職員さんに気軽に声をかけてもらえます。ただ、職員さんは名前出さずにやってるケースが多いので、こっちは顔わかれへんから、誰なん？あぁ、あの人ね、みたいな(笑)僕は一応気にならないタイプなので、名前出して、顔も出して、こんな人ですよ、みたいな感じで知ってもらってますね。



異なる世代のメディアリテラシーの違いに配慮。



村上 ただ、やっぱりいろんな人が読んでる可能性があるものなので、大学教員ですから、その枠をはずれないように、っていうのは結構構えをつけるようにしています。気軽に誰が読んででも誹謗中傷にならないように、受け取られ方によって変に取られないように、っていうことは、気をつけてます。

今50歳で、いわゆるネット黎明期から関わっている、っていうのもあって、その辺慣れてるっていうのがあるんですけど、特に今の学生さんは当然生まれたときから普通にインターネットやSNSがあるので、この辺の感覚が全然違うっていうことを意識して大学で授業をしています。だから、さっき言ったような授業中にTwitterをやってみたいなものもメディアリテラシー教育の一環、という感じで意識してやっています。



大貫 授業でメディアリテラシーを教えていらっしゃる時、若い学生さんにはどういうことをメッセージとして伝えてるんですか。



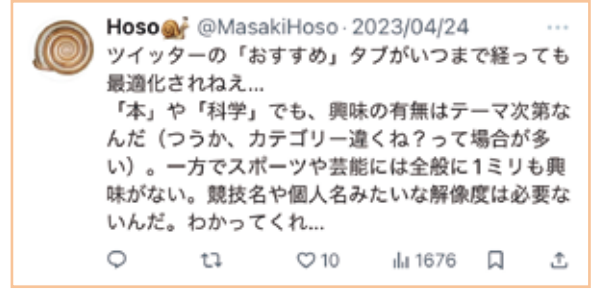
村上 実際に使って体感しないとわからないことはいっぱいあるので、授業の枠組みの中でやってもらえれば、と思います。あと、授業中に、こういうのがTwitterで炎上してますとか、こういうのがバズってます、企業さんはこういうことを考えてバズらせようとしてます、みたいな話をしているのですが、利用者の立場だけでなく、提供側の立場を考えてもらう、世の中そういう仕組みなんだっていうことを知ってもらえたらいいと思います。今の学生さんとかは特に無意識だし、CMがある理由などはピンとこないことも多いので、時代の違いを意識して説明するようにしています。



大貫 細さんはいかがですか。



細 気をつけてるっていうか、僕は炎上の経験はないので、こういうことをやめとこうとかみたいな失敗に学ぶっていうことはあんまりしてないんですけど、気をつけるのがしんどい、そういうのを気にかけてツイートしていくのがしんどいな、そういうふうなこと、気を使ってやっていくのしんどいなっていうのがあって、もうなるべく感情を出さないような感じになってきてますね。だから、さっき、武田さんがおっしゃりたいに、リプライに回答しないと、あと、越智さんもおっしゃったようなプライベートな話題を出さないというふうな、そういうのを同じように徹底してる感じがしていますね。



Twitter 上での議論は絶対避けたい。



細 でも、そんな気をつけてても、今、TwitterからXになって変わってきて嫌だなと思ってるのが、フォロー中とおすすめと二つ選べるようになっていて…



武田 そうですよ。それ、まじ嫌ですよ。



細 ね。おすすめ欄あると関連してる人たち、多分、フォロワーのネットワークから適当に拾ってきてるんだと思うんですけど、すみ分けてるはずの人たちに見つかりやすくなると。そうすると、女性限定公募とか、世代間格差とか、必ず対立軸があって燃えやすいテーマにみんなの目が向かってしまって、特定の人の発言がたたかれちゃったりとか、それに関連する発言が拾われてさらに延焼していくみたいなことがあったりして。どちらが正しいとかではなくって、短い文字数で相手を説得するとか、共感を得るとか、なかなかヒートアップすると難しいので、もうああいうのにふれないことが大事じゃないかと最近よく思います。



武田 僕もその点に関してはもう細さんと全くおなじで、ああいう本来は見なくてよかった人たちのツイートが最近見れるようになってきてしまって、くくりも多分ざっくりしてるんで、研究者っぽい人のツイートは全部、ほぼ出てきちゃうみたいな感じになっているんですよ。そうすると、本来は見なくてよかったものが見えて。そういうのに限ってテーマが結構際どい、限定公募とかそういうのが多いので、



一同 (笑)



武田 僕は意図的にもそういうのは絶対ふれないようにしています。僕もTwitterでなされる議論はもう本当に無駄だと思ってるので、あそこでやったところで何か生まれるとはあんまり思えないですし、そういう主義主張が違うものに関しては答えがなさそうだと思うので。特にXになってからは注意してます。

Xのおすすめは厄介ですね、と武田さん、細さん。



Xになって、不満はあるけれども。

細 ただ、そうすると、だんだん Twitter じゃなくて Instagram になっちゃいますよね。

武田 (笑) それは若干そうですね。だから、X になってからそっち、そういう過激な議論みたいなのに嫌悪感がある人っていうのは Instagram とか別のツールに移っているという感じはありますね。

白眉 大貫 質問がきています。「Twitter から X になって使い勝手がちょっと悪くなったと思います。武田さんや村上さんが X を離れたら自分も離れようと思っているのですが、次のプラットフォームは何がよいと思いますか。」

武田 え (笑)

村上 いや、むずいよな、これは。

武田 そうですね。さっきの細さんの話でもありましたけど、おすすめっていうかたちでほかの人のツイートが勝手に出てきちゃうとか、インプレッションを稼いでお金を稼ぐような、意味のないことをスパムっぽくばっけ書いてるアカウントとか増えたので、確かに Twitter だった頃に比べて使い方が難しくなってるのは感じますね。かといってほかのっていうのも難しいですよ。

村上 そうなんよな。結局、プラットフォームビジネスなんで、ユーザーがたくさんいるかどうかということがポイントになるんですよ。例えば、Threads っていうインスタと連携した SNS がスタートしましたが、初期の頃は、どっと利用者増えて話題になりましたけど、今は多分、そんなにみんな書いてないんじゃないかなと。一応、僕は商売柄やってますけど、なかなか厳しそうで、僕は使ってませんが、Bluesky っていう分散型 SNS もあります。数年前にも分散型の Mastodon っていうのがあったんですけども、結局なかなか広まらないですよ。X、Twitter、何がメリットかっていうと、やっぱりユーザーが多いっていうことなんで。

研究者に特化した SNS とかが出てくる可能性、ゼロではないと思うんですけど、やっぱり広報ツールであるということと考えたらなかなか難しいかなあ、って思いますね。もちろんインスタとか TikTok とかもあるんですけど、研究者向けではないので。

武田 (笑)



村上 ビジネスとしては、当然、TikTok を中高生にリーチするために使うって話はあるんですけど、研究者に関する内容を TikTok でリーチするっていうのは、そうそうむずかしいかなって思います。

研究者としては、今、新しいプラットフォームを使うっていったらなかなか悩ましいなっていうところですかね。

武田 僕は最近、インスタに Twitter みたいな文章を画像に上からかぶせて載っけるみたいなことをたまにしますね。インスタは広まりにくい気がするんで、プライベートに近いような内容とかも拡散されないの。だからそっちにたまにツイート…じゃない、インスタ投稿したりするけれども、やっぱり SNS は人口あってのところではあるので。X は使い勝手は悪いけれども、あえてほかのやつに行くほどでもないかなと思ってます。

白眉 大貫 様子を見ながらというところですかね。

武田 そうですね。でも、これがごぞっと別のところにくるってことは難しいと思います。

村上 正直、なかなかないと思いますね。プラットフォームに関しては、やっぱり先行者利益がすごい大きいので。いや、とはいえ、iPhone が出たときに日本では iPhone 流行らへんって言われてましたけど、スマートフォンが跋扈 (ばっこ) したので、どっかでビジネスモデルの変化とかパラダイムシフトが起こるかもしれないですけどね。現状はなかなか…イーロン・マスクが X やめますとか、言わない限りは、

一同 (笑)

村上 いや、言う可能性もあると思うんですけど (笑)、そういうことがないと、なかなか別の SNS に移行しにくいなっていうところですね。Threads、どうかなって思ってたんですけど、思ったよりみんな使ってない。

武田 思ったよりインスタっぽかったですよ。もうちょい Twitter の機能に近かったら移ってたかもしれないですけど。

村上 そうですね。あと、インスタのアカウントと紐づいてしまってるんで、別のアカウント作れないっていう。僕は研究者なんで実名であったりとか、ある程度のプロフィールは示したうえで仮名的な形で利用することが多いんですけど、一般的には完全な匿名で使いたい人って結構いるんで、なかなか移行しなかったなっていう印象ですね。

武田 だから、不満はあるけど、Twitter を使うという (笑)

村上 そうですね。使わざるを得なくなってるっていう。問題は多いんですけどね。